




Dell S3222HSモニター

ユーザーガイド

モニターモデル：S3222HS
規制モデル：S3222HSc



-  **注意:**注意は、コンピューターをより使いやすくするための重要な情報を示します。
-  **警告:**警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。
-  **危険:**危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2021 Dell Inc.またはその子会社。All rights reserved.Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc.またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2021年08月

Rev. A00



目次

安全上の注意	6
お使いのモニターについて	7
パッケージ内容	7
製品の特徴	9
部品とコントロールの識別	10
前面ビュー	10
背面ビュー	11
側面ビュー	12
底面ビュー	12
モニターの仕様	14
スピーカーの仕様.....	15
解像度の仕様.....	16
ビデオのサポートモード	16
プリセットディスプレイモード.....	17
物理特性	19
環境特性	20
プラグアンドプレイ機能	21
LCDモニター品質とピクセルポリシー	21
モニターの設定	22
台を取り付ける	22
モニターの接続	24
HDMIケーブルの接続.....	24



ケーブルを整理する	25
ケンジントンロックを使用してモニターを固定する(オプション)	26
台を取り外す	27
壁取り付け(オプション)	29
モニターの操作	30
モニターの電源をオンにする	30
コントロールボタンの使用	30
コントロールボタン	31
OSDコントロール	32
オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用	33
OSDメニューにアクセスする	33
メニューおよび電源ボタンのロック	43
OSD警告メッセージ	46
最大解像度の設定	48
傾きおよび垂直延長を使用する	49
傾き延長	49
垂直延長	49
人間工学	50
ディスプレイの取り扱いと移動	52
お手入れのガイドライン	53
モニターの清掃	53
トラブルシューティング	54
セルフテスト	54
ビルトイン診断	55





共通の問題	57
製品固有の問題	60
付録	61
FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報	61
Dellへのお問い合わせ	61
安定性に関する危険	62



安全上の注意

モニターを潜在的な損傷から保護し、個人の安全を確保するには、次の安全ガイドラインを使用してください。特に明記されていない限り、本書に記載されている各手順は、モニターに付属の安全情報を読んだことを前提としています。

 **モニターを使用する前に、モニターに付属する安全情報、および製品に印刷されている安全情報をお読みください。将来の参照のために、本書を安全な場所に保管してください。**

 **警告：この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がることがあります。**

- ・モニターを固い表面に置き、慎重に取り扱ってください。画面は壊れやすく、落したり、鋭利なものにぶつかけたりすると損傷する可能性があります。
- ・モニターが、お住まいの地域で利用できるAC電源で動作するように電氣的に定格されていることを確認してください。
- ・モニターを室温に維持してください。過度の低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響を与える可能性があります。
- ・電源ケーブルをモニターから近く、アクセス可能な壁のコンセントに接続してください。[モニターの接続](#)を参照してください。
- ・濡れた表面や水の近くにモニターを置いて使用しないでください。
- ・モニターに激しい振動や強い衝撃を与えないでください。たとえば、モニターを車のトランク内に置かないでください。
- ・モニターを長期間使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- ・感電を防ぐため、カバーを取り外したり、モニターの内部に触れたりしないでください。
- ・これらの注意事項を良くお読みください。将来参照できるよう、本書を保管してください。製品上に記載されたすべての警告および注意事項を遵守してください。
- ・イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧により、聴力障害が発生する可能性があります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し、音圧レベルが増大します。
- ・装置を壁または水平位置の天井に設置してください。

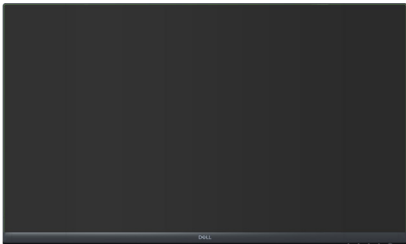

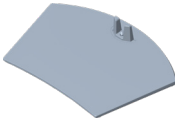



お使いのモニターについて

パッケージ内容

モニターには、以下の表に示されるコンポーネントが付属しています。いずれかのコンポーネントが欠落している場合は、Dellに連絡してください。詳細については、[Dellへのお問い合わせ](#)を参照してください。

注意:一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

	ディスプレイ
	スタンドライザー
	スタンド台
	電源ケーブル(国によって異なります)



	HDMI 1.4ケーブル
	<ul style="list-style-type: none">・ クイックセットアップガイド・ 安全、環境、規制情報



製品の特徴

Dell S3222HSモニターには、アクティブマトリクス方式、薄膜トランジスタ（TFT）、液晶ディスプレイ（LCD）、静電防止、LEDバックライトが搭載されています。モニターの特徴は次のとおりです。

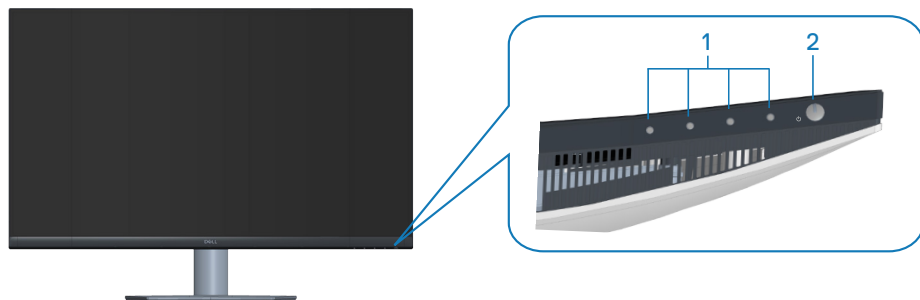
- ・ 80.13 cm（31.5インチ）の表示可能領域のディスプレイ（対角で測定）。
- ・ 解像度1920 x 1080、さらに低解像度の場合フルスクリーンもサポート。
- ・ より滑らかで、流れるようなゲームプレイを実現するために、画面のティアリングやスタッタリングなどのグラフィックの歪を最小化するAMD FreeSync™テクノロジー。
- ・ FreeSyncモードで48Hz～75 Hz（HDMI）をサポートします。
- ・ ビルトインスピーカー5W x 2。
- ・ 外部スピーカーまたはサブウーファーを接続するためのオーディオライン出力をサポート。
- ・ 99% sRGBの色域（標準）。
- ・ HDMIを用いるデジタル接続。
- ・ 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ（OSD）調整。
- ・ 取り外し可能なスタンドとVESA™（ビデオエレクトロニクススタンダードアソシエーション）100mm取り付け穴により、柔軟な取り付けが可能。
- ・ 傾きおよび高さ調整機能。
- ・ セキュリティロックスロット。
- ・ スタンバイモードで $\leq 0.3W$ 。
- ・ Dellディスプレイマネージャーをサポート。
- ・ ちらつき防止画面により目にとって心地よい環境を作ります。

⚠ 危険：モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、眼の疲れ、デジタル眼精疲労などを含む、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。ComfortView機能は、モニターから放射される青色光の量を低減し、目にとって心地よい環境を作ります。



部品とコントロールの識別

前面ビュー

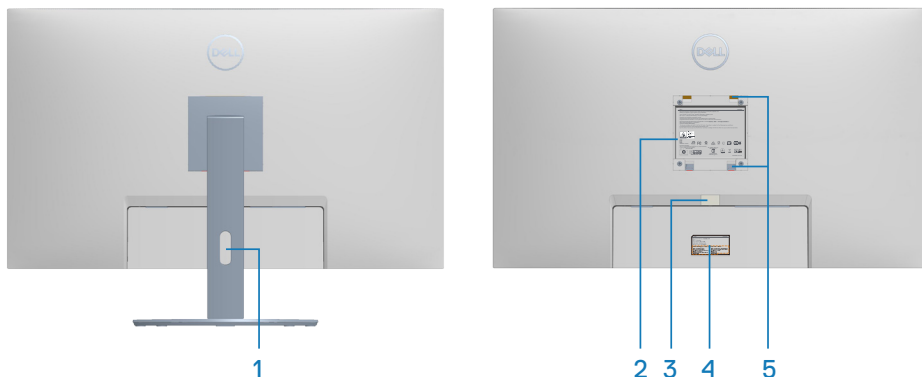


コントロールボタン

ラベル	説明	用途
1	機能ボタン	OSDメニューでアイテムを調節するには、機能ボタンを押します。 (詳細については、 コントロールボタンの使用 を参照してください)
2	電源オン/オフボタン (電源ステータスライト付き)	モニターのオンとオフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンで正常に機能していることを示しています。白いライトの点滅は、モニターがスタンバイモードに入っていることを示しています。



背面ビュー



モニタースタンドを取り付けた状態の背面ビュー

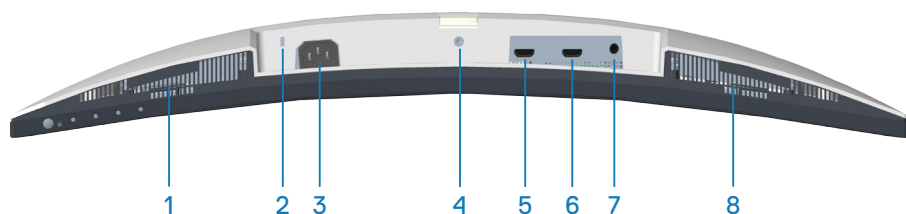
ラベル	説明	用途
1	ケーブル管理スロット	スロットを通して配線することで、ケーブルをまとめるために使用します。
2	規制情報ラベル	規制承認を一覧表示。
3	スタンドリリースボタン	モニターからスタンドを解放します。
4	規制ラベル（バーコードシリアル番号およびサービスタグラベルを含む）	規制承認を一覧表示。技術サポートを受けるためにDellに連絡する際に、このラベルを参照します。サービスタグは、Dellサポート技術者が、コンピューター内のハードウェアコンポーネントを特定し、保証情報にアクセスするためのユニークな英数字識別子です。
5	VESA取り付け穴（4）	VESA互換の壁取り付けキットを介してモニターを壁に取り付けるために使用されるVESAカバーの後ろのアクセスできる4つのVESA取り付け穴（100 mm x 100 mm）。壁取り付け（オプション）を参照してください。



側面ビュー



底面ビュー



モニタースタンドを取り付けていない状態の底面ビュー

ラベル	説明	用途
1	ビルトイン右スピーカー	オーディオ出力を提供します。
2	セキュリティロック スロット	モニターの不正な動作を防止するため、セキュリティロック（別売）を使用して、モニターを固定します。 ケンジントンロックを使用してモニターを固定する（オプション） を参照してください。
3	電源コネクタ	電源ケーブル（モニターに付属）を接続します。
4	スタンドロック機能	M3 x 6 mmねじを使用して、モニターにスタンドをロック（ねじは含まず）。




5	HDMI1 1.4ポート	HDMIケーブルを使って、コンピューターに接続します。
6	HDMI2 1.4ポート	HDMIケーブルを使って、コンピューターに接続します。
7	オーディオライン出力ポート	外部スピーカーまたはサブウーファー（別売）に接続します。*
8	ビルトイン左スピーカー	オーディオ出力を提供します。

* オーディオライン出力ポートは、ヘッドフォンをサポートしていません。



モニター仕様

モデル	S3222HS
スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
パネルタイプ	垂直調整
表示可能画像	
対角	801.30 mm (31.55インチ)
水平、アクティブエリア	698.40 mm (27.50インチ)
垂直、アクティブエリア	392.85 mm (15.47インチ)
領域	274366.44 mm ² (425.27インチ ²)
ネイティブ解像度およびリフレッシュレート	1920 x 1080、60Hz
ピクセルピッチ	0.36375 mm x 0.36375 mm
インチあたりのピクセル (PPI)	70
視野角	
水平	178° (標準値)
垂直	178° (標準値)
輝度出力	300 cd/m ² (標準値)
コントラスト比	3000:1 (標準値)
表面コーティング	SAG 40%、3H
バックライト	LEDエッジライト方式
応答時間	8 msグレーからグレー (通常モード) 5 msグレーからグレー (高速モード) 4 msグレーからグレー (最速モード)  注意：最速モードでは、4 msグレーからグレーモードを実現して、目に見えるモーションブラーを減らし、画像の応答性を向上させます。ただし、これにより、画像に若干の目立つアーティファクトが生じる場合があります。すべてのシステム設定とすべてのユーザーのニーズは、適切な設定を見つけるための異なるモードであるためです。



曲率	1800R（標準）
色深度	1670万色（RGB 8ビット）
色域	99% sRGB（標準）
接続	2 x HDMI 1.4、HDCP 1.4（1920 x 1080、最大75 Hz） 1 x オーディオライン出力
ベゼルの幅（モニターの端からアクティブエリアまで）	
上	7.57 mm
左/右	7.61 mm
下	24.35 mm
調整可能	
高さ調整可能スタンド	70 mm
傾斜	-5°～21°
スイベル	該当なし
傾斜調整	-4°～4°
Dellディスプレイマネージャーの互換性	Easy Arrangeおよび他の主要機能
セキュリティ	セキュリティロックスロット（ケーブルロックは別売りです）

スピーカーの仕様

スピーカーの定格出力	2 x 5 W
周波数応答	200 Hz～16 kHz
インピーダンス	8 Ω



解像度の仕様

モデル	S3222HS
水平走査範囲	30 kHzから83 kHz
垂直走査範囲	48 Hzから75 Hz
最大プリセット解像度	1920 x 1080、75 Hz

ビデオのサポートモード

モデル	S3222HS
ビデオ表示機能	480p、480i、576p、720p、1080p、576i、1080i

 **注意：このモニターはAMD FreeSync™をサポートします。**



プリセットディスプレイモード

ディスプレイ モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極性 (水平/垂直)
VESA、 640 x 480	31.47	60.0	25.175	-/-
VESA、 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、 720 x 400	31.47	70.0	28.32	-/+
VESA、 800 x 600	37.88	60.0	40	+/+
VESA、 800 x 600	46.86	75.0	49.5	+/+
VESA、 1024 x 768	48.36	60.0	65	-/-
VESA、 1024 x 768	60.02	75.0	78.75	+/+
VESA、 1152 x 864	67.5	75.0	108	+/+
VESA、 1280 x 1024	63.98	60.0	108	+/+
VESA、 1280 x 1024	79.98	75.0	135	+/+
VESA、 1600 x 900	60	60	108	+/+
VESA、 1920 x 1080	67.5	60	148.5	+/+
VESA、 1920 x 1080	83.89	75	174.5	-/+



電氣的仕様

モデル	S3222HS
ビデオ入力信号	HDMI 1.4 (HDCP)、各差動線路毎に600 mV、差動ペアあたり100Ω入力インピーダンス
AC入力電圧/周波数/電流	100VACから240VAC/50Hzまたは60Hz ± 3Hz/1.6 A (最大)
突入電流	120 V : 30 A (最大) 0°Cで (コールドスタート) 240 V : 60 A (最大) 0°Cで (コールドスタート)
電力消費	0.3 W (オフモード) ¹ 0.3 W (スタンバイモード) ¹ 26 W (オンモード) ¹ 52 W (最大) ² 25 W (Pon) ³ 78.36 kWh (TEC) ³

¹ EU 2019/2021およびEU 2019/2013で定義されています。

² 最大の輝度とコントラストの設定。

³ Pon : EnergyStarテスト方法を参照して測定されたオンモードの消費電力。
TEC : EnergyStarテスト方法を参照して測定されたkWh単位の総エネルギー消費量。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を提示しています。注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては製品の性能が変わることがあります。そのような情報を更新する義務は製品にありません。

そのため、電氣的な許容範囲またはそれ以外について意志決定を行うとき、本書の情報に依存しないでください。精度と完全性については、明示的にも暗示的にも何の保証もありません。



物理特性

モデル	S3222HS
シグナルケーブルタイプ	デジタル：HDMI、19ピン
寸法（スタンド付き）	
高さ（引き伸ばし時）	518.11 mm（20.40インチ）
高さ（圧縮）	448.11mm（17.64インチ）
幅	709.22 mm（27.92インチ）
奥行き	217.05 mm（8.55インチ）
寸法（スタンドなし）	
高さ	424.77 mm（16.72インチ）
幅	709.22 mm（27.92インチ）
奥行き	64.04 mm（2.52インチ）
スタンド寸法	
高さ	382.20 mm（15.05インチ）
幅	302.01 mm（11.89インチ）
奥行き	217.05 mm（8.55インチ）
重量	
重量（パッケージを含む）	14.95 kg（32.96ポンド）
重量（組み立てスタンドとケーブルを含む）	10.26 kg（22.62ポンド）
組み立てスタンドなしの重量（ケーブルなし）	6.78 kg（14.95ポンド）
組み立てスタンドの重量	3.12 kg（6.88ポンド）
フロントフレーム（ツヤあり）	黒フレーム2〜4グロス本体



環境特性

モデル	S3222HS
準拠する標準	
<ul style="list-style-type: none">・ RoHS準拠・ BFR/PVC削減モニター（回路基板は、BFR/PVCを含まない積層板から作成されています）。・ ヒ素を含まないガラスと水銀を含まないパネル	
温度	
運転時	0°C～40°C
非運転時	<ul style="list-style-type: none">・ 保管時：-20°C～60°C・ 輸送時：-20°C～60°C
湿度	
運転時	10% ～ 80%（結露しない）
非運転時	<ul style="list-style-type: none">・ 保管10% ～ 90%（非結露）・ 出荷10% ～ 90%（非結露）
高度	
運転時（最大）	5,000 m（16,400フィート）
非運転時（最大）	12,192 m（40,000 ft）
熱出力	<ul style="list-style-type: none">・ 177.84 BTU/時間（最大）・ 88.92 BTU/時間（オンモード）



プラグアンドプレイ機能

任意のプラグアンドプレイ互換システムに、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイデータチャンネル（DDC）プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ（EDID）を自動的に提供するため、システムによる自己設定およびモニター設定の最適化が可能です。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCDモニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。これらの固定ピクセルは見つけにくく、表示品質や使い勝手に影響しません。Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト www.dell.com/pixelguidelines を参照してください。



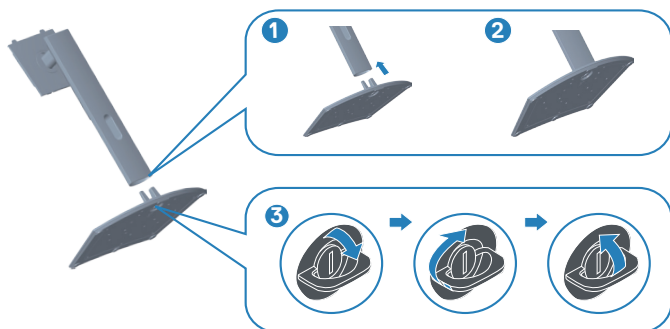
モニターの設定

台を取り付ける

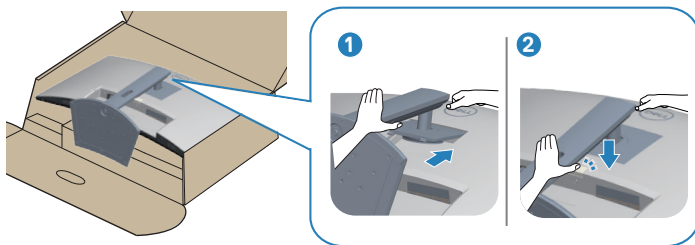
- 注意：工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
- 注意：次の手順はモニターに付属のスタンドに適用されます。サードパーティ製スタンドを接続する場合は、そのスタンドに付属の説明書を参照してください。

モニタースタンドを取り付けるには：

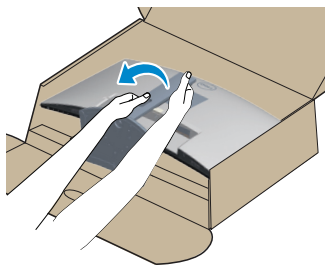
- 梱包箱のフラップ上の指示に従い、固定する上部クッションからスタンドを取り外してください。
- スタンドベースをスタンドライザーに接続します。
- スタンドベースのねじハンドルを開き、ねじを締めて、スタンドライザーをスタンドベースに固定します。
- ねじハンドルを閉じます。



5. スタンドアセンブリ上のタブをモニター上のスロットにスライドさせ、スタンドアセンブリを下に押し、所定の位置にはめ込みます。



6. モニターを直立させてください。



モニターの接続

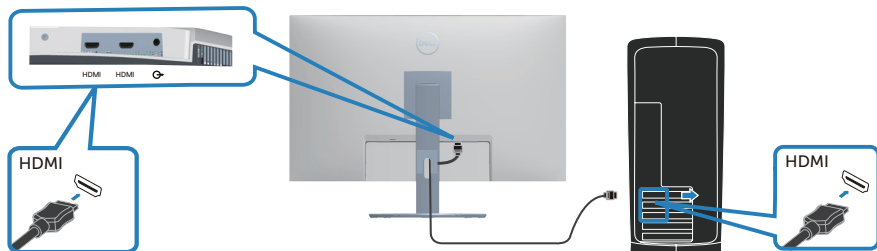
⚠ 危険：このセクションの手順を始める前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

📌 注意：すべてのケーブルを同時にモニターに接続しないでください。ケーブルをモニターに接続する前に、ケーブル管理スロットに通すことをお勧めします。

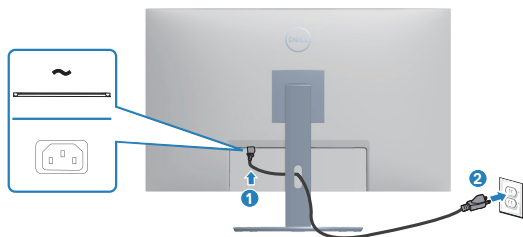
モニターをコンピューターに接続するには：

1. コンピューターの電源を切り、電源ケーブルを外してください。
2. HDMIケーブルをモニターからコンピューターに接続します。

HDMIケーブルの接続

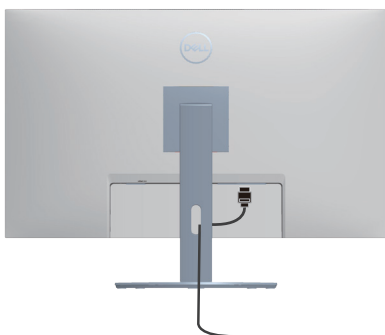


3. コンピューターとモニターの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。

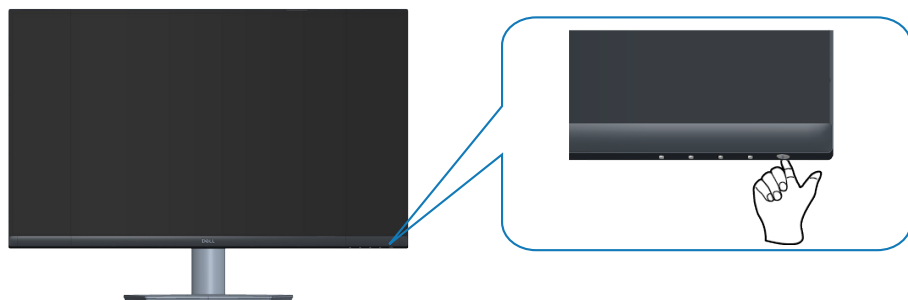


ケーブルを整理する

ケーブル管理スロットを使って、モニターに接続したケーブルを配線します。



4. モニターの電源を入れてください。



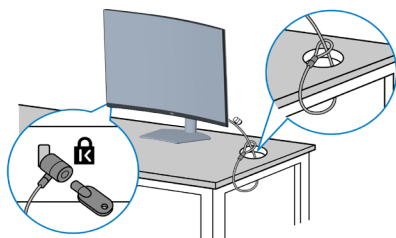
ケンジントンロックを使用してモニターを固定する(オプション)

ケンジントンセキュリティロックを使用して固定物にモニターを固定し、モニターの重量を支え、モニターが誤って落下するのを防ぐことができます。

セキュリティロックスロットは、モニターの下部にあります。(セキュリティロックスロットを参照してください)

ケンジントンロック (別売り) の使用の詳細については、ロックに付属のマニュアルを参照してください。

ケンジントンセキュリティロックを使用して、モニターをテーブルに固定します。



注意：画像は説明のみを目的としています。ロックの外観は異なることがあります。

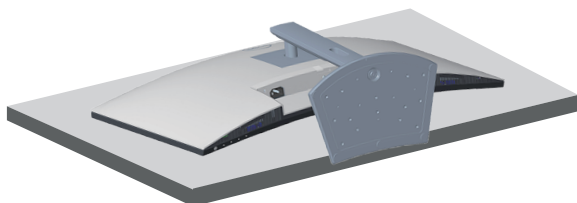


台を取り外す

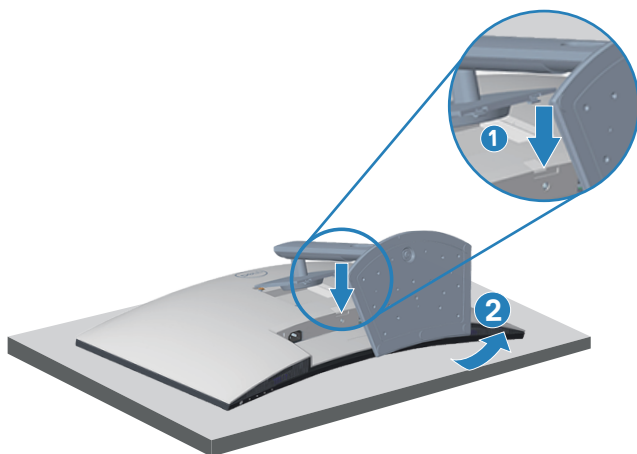
- 注意：スタンドを取り外している間に画面に傷が付かないように、モニターを柔らかい、きれいな面に置いていることを確認してください。
- 注意：次の手順はモニターに付属のスタンドにのみ適用されます。サードパーティ製スタンドを接続する場合は、そのスタンドに付属の説明書を参照してください。

スタンドを取り外すには：

1. モニターを机の端の柔らかい布またはクッションの上に置きます。



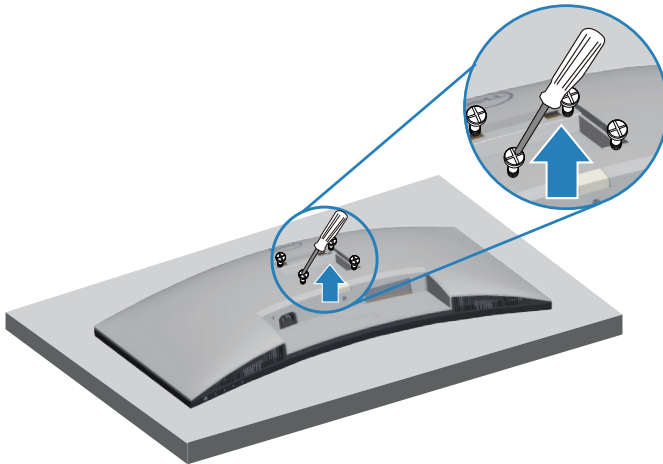
2. ディスプレイの背面にあるスタンド解除ボタンを押し続けます。



3. スタンドアセンブリを持ち上げ、モニターから離します。



壁取り付け(オプション)



(ねじ寸法：M4 x 10 mm)。

VESA互換の壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。


1. ディスプレイを机の端の柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. 台を取り外します。 [台を取り外す](#)を参照してください。
3. ディスプレイ背面カバーを固定している4本のねじを外します。
4. 壁取り付けキットの取り付けブラケットをディスプレイに取り付けます。
5. モニターを壁に取り付ける場合は、壁取り付けキットに付属の説明書を参照してください。

 **注意：27.12 kgの最小重量/荷重負担能力のある、UL、CSAまたはGS規格認定取得済みの壁取り付けブラケットのみを使用してください。**



モニター の 操作

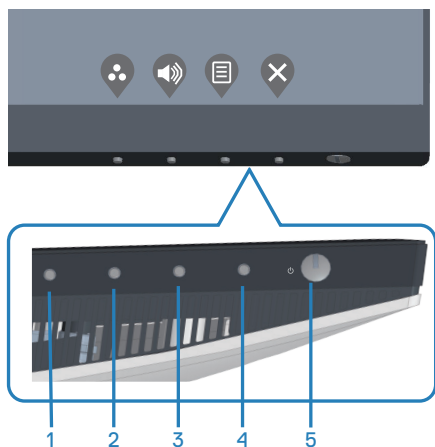
モニター の 電源 を オン に する

モニター の 電源 を 入 れ る に は、 ボタン を 押 し ま す。








コントロール ボタン の 使用

表示 され て い る 画 像 を 調 整 す る に は、モ ニ ター の 下 端 に あ る コ ン ト ロール ボタン を 使 用 し ま す。



コントロールボタン

以下の表は、コントロールボタンについてまとめたものです。





コントロールボタン		説明
1	 ショートカットキー /プリセットモード	プリセットモードの一覧から選ぶには、このボタンを使用します。
2	 ショートカットキー /音量	このボタンを使用し、音量を調整します。最小は0 (-) です。最大は100 (+) です。
3	 メニュー	メニューボタンを使用して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) を起動します。 OSDメニューにアクセスする を参照してください。
4	 終了	このボタンを使用してメインメニューに戻るか、OSDメインメニューを終了します。
5	 電源 (電源ライトインジケーター付き)	モニターのオンとオフを切り替えます。白いライトが点灯しているときには、モニターがオンで正常に機能していることを示しています。白いライトの点滅は、モニターがスタンバイモードに入っていることを示しています。



OSDコントロール

画像の設定を調整するには、モニターの下にあるボタンを使用します。




	コントロールボタン	説明
1	 上	メニューで値を増やしたり、上に移動したりするには、 上 ボタンを使用します。
2	 下	メニューで値を減らしたり、下に移動したりするには、 下 ボタンを使用します。
3	 OK	メニューで選択を確定するには、 OK ボタンを使用します。
4	 戻る	前のメニューに戻るには、 戻る ボタンを使用します。

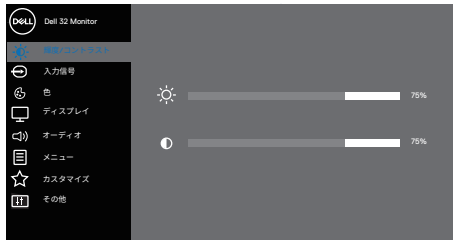














オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

OSDメニューにアクセスする


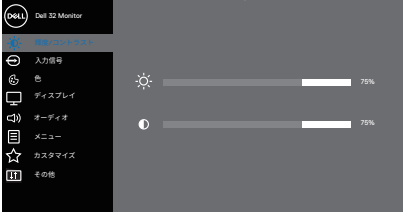















 **注意:**別のメニューに移動するか、OSDメニューを終了するか、OSDメニューが自動的に閉じられると、それまでの変更内容が自動的に保存されます。

1. OSDメインメニューを表示するには、 ボタンを押します。


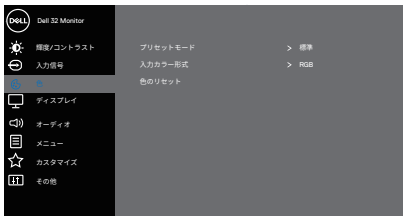



2.  および  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
3. 、 または  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4.  および  ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
5.  を押し、メニューのインジケーターに従って、 および  ボタンを使用して、変更を行います。
6.  を選択して、前のメニューに戻るか、 を押して承認し、前のメニューに戻ります。



アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	輝度/コントラスト	<p>このメニューを使用して輝度/コントラスト調整を有効にします。</p>  <p style="text-align: right;">     </p>
	輝度	<p>輝度は、バックライトの輝度を調整します。輝度を上げるには、 ボタンを押します。輝度を下げるには、 ボタンを押します (最小0/最大100)。</p>
	コントラスト	<p>まず、輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。  ボタンを押して、コントラストを上げ、 ボタンを押して、コントラストを下げます (最小0/最大100)。 コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。</p>
	入力信号	<p>モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。</p>  <p style="text-align: right;">     </p>
	HDMI 1	<p>HDMI 1コネクタを使用している場合は、HDMI 1入力を選択します。 を押して、HDMI入力ソースを選択します。</p>



	HDMI 2	HDMI 2コネクタを使用している場合は、HDMI 2入力を選択します。◀を押して、HDMI入力ソースを選択します。
	自動選択	利用可能な入力信号をスキャンするには 自動選択 を選択します。
	入力信号のリセット	デフォルトの入力信号に戻すには、このオプションを選択します。
	色	色を使って色設定モードを調整します。  
	プリセットモード	プリセットモードを選択すると、リストから 標準 、 Comfortview 、 ムービー 、 FPS 、 RTS 、 RPG 、 暖色 、 寒色 、または ユーザーカラー を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 標準: モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。 • ComfortView: 画面から放射される青色光レベルを低減し、目のために、より快適に閲覧できるようします。 • ムービー: ムービーに適したカラー設定を読み込みます。 • FPS: 一人称視点シューティングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。 • RTS: リアルタイム戦略ゲームに最適なカラー設定を読み込みます。 • RPG: ロールプレイングゲームに最適なカラー設定を読み込みます。



- **暖色**:色温度を上げます。画面は赤/黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
- **寒色**:色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- **ユーザーカラー**:手動でカラー設定を調整することができます。

▲ボタンと▼ボタンを押して3つの色 (R、G、B) 値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。


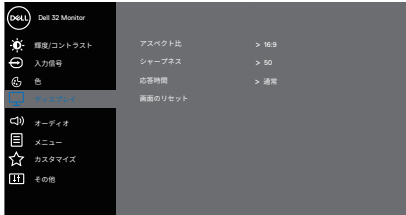


入力カラー形式


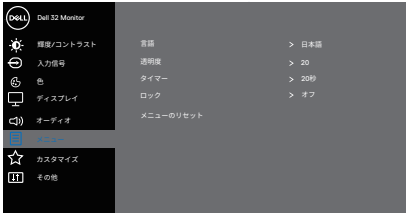
ビデオ入力モードを以下に設定可能です。

- **RGB**:モニターがRGB出力をサポートするコンピューターまたはメディアプレーヤーに接続されている場合は、このオプションを選択します。
- **YPbPr**:お使いのメディアプレーヤーがYCbCr出力のみをサポートしている場合は、このオプションを選択します。


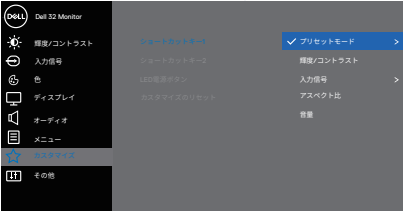


	<p>色相</p>	<p>この機能を使用して、ビデオ画像の色を緑または紫に変えることができます。これは、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。▲または▼を使用して、色相を 0 ～ 100 の範囲で調整します。</p> <p>▲を押すと、ビデオ画像の緑の影が増加します。</p> <p>▼を押すと、ビデオ画像の紫の影が増加します。</p> <p>注意：色相の調整は、ムービー、FPS、RTS、RPG モードを選択している場合のみ利用可能です。</p>
	<p>彩度</p>	<p>この機能を使用して、ビデオ画像の色の彩度を調整できます。▲または▼を使用して、彩度を 0 ～ 100 の範囲で調整します。</p> <p>▲を押すと、ビデオ画像のカラーの外見が増加します。</p> <p>▼を押すと、ビデオ画像のモノクロの外見が増加します。</p> <p>注意：彩度の調整は、ムービー、FPS、RTS、RPG モードを選択している場合のみ利用可能です。</p>
	<p>色のリセット</p>	<p>モニターの色設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。</p>
	<p>ディスプレイ</p>	<p>ディスプレイを使用して画像を調整します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ▶ ✕</p>
	<p>アスペクト比</p>	<p>画像比を16:9、4:3または5:4に調整します</p>
	<p>シャープネス</p>	<p>これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。▲または▼を使用して、シャープネスを0～100の範囲で調整します。</p>
	<p>応答時間</p>	<p>標準、高速または最速から選択できます。</p>



	画面のリセット	すべてのディスプレイ設定を工場出荷初期値にリセットします。
🔊	オーディオ	オーディオを使用して、オーディオを調整します。  ▲ ▼ ▶ ✕
	音量	このボタンを使用し、音量を調整します。最小は0 (-) です。最大は100 (+) です。
	スピーカー	このオプションを選択して、スピーカーをアクティブにします。
	オーディオのリセット	このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。
	メニュー	OSDの言語、画面にメニューが表示される時間など、OSD設定を調整するにはこのオプションを選択します。  ▲ ▼ ▶ ✕
☰	言語	言語オプションを使用して、OSDディスプレイを8つの言語 (English、Español、Français、Deutsch、Português (Brasil)、Русский、简体中文、日本語) のいずれかに設定します。
	透明度	このオプションを選択し、▲および▼ボタンを押して、メニューの透明度 (0 ~ 100) を変更します。

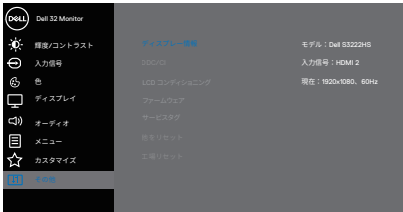
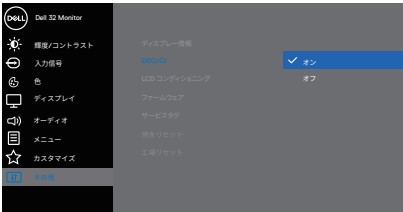



	<p>タイマー</p>	<p>OSD 保持時間: ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。</p> <p>▲または▼を使用して、スライダーを 5 ~ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。</p>
	<p>ロック</p>	<p>ユーザーが調整にアクセスすることを制御します。ユーザーは、メニューボタン、電源ボタン、メニュー + 電源ボタン、オフのいずれかを選択できます。</p>
	<p>メニューのリセット</p>	<p>すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p>
<p>☆</p>	<p>カスタマイズ</p>	<p>このオプションを選択して、カスタマイズ設定を調整します。</p>  <p>▲ ▼ ▶ ✕</p>
	<p>ショートカットキー1</p>	<p>ユーザーは、プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、音量の中からいずれかを選択して、ショートカットキー1を設定できます。</p>  <p>▲ ▼ ▶ ⏏</p>



	<h3>ショートカットキー2</h3>	<p>ユーザーは、プリセットモード、輝度/コントラスト、入力信号、アスペクト比、音量の中からいずれかを選択して、ショートカットキー2を設定できます。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ □</p>
	<h3>LED電源ボタン</h3>	<p>電源LEDランプをオンモードでオンまたはオンモードでオフに設定して、エネルギーを節約します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ □</p>
	<h3>カスタマイズのリセット</h3>	<p>カスタマイズメニュー下のすべての設定をデフォルト設定にリセットします。</p>
	<h3>その他</h3>	<p>このオプションを選択して、DDC/CI、LCDコンディショニングなどのOSD設定を調整します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ▶ ✕</p>



<p>ディスプレイ情報</p>	<p>モニターの現在の設定を表示します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ Ⓞ</p>
<p>DDC/CI</p>	<p>DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス) により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター (輝度、色バランスなど) を調整できます。</p> <p>オフを選択することで、この機能を無効にできます。オンを選択し、この機能を有効化することで、ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にすることができます。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ Ⓞ</p>
<p>LCD コンディショニング</p>	<p>この機能により、残像の軽微な問題を低減することができます。残像の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。LCD コンディショニングを開始するには、オンを選択します。</p>
<p>ファームウェア</p>	<p>ディスプレイに関するファームウェアのバージョンを表示します。</p>
<p>サービスタグ</p>	<p>ディスプレイのサービスタグ番号を表示します。サービスタグは、Dell が、製品仕様を特定し、保証情報にアクセスするためのユニークな英数字識別子です。</p> <p> 注意：また、サービスタグは、カバーの背面にあるラベルに印刷されています。</p>



他をリセット	その他の設定メニューですべての設定を初期値に戻します。
工場リセット	すべてのプリセット値を工場出荷時デフォルト設定に復元します。

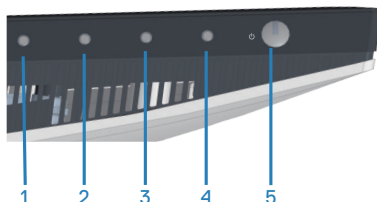
 **注意:**このモニターには自動的に輝度を調整してLEDの経年変化を補正する機能が内蔵されています。



メニューおよび電源ボタンのロック

ユーザーがディスプレイのOSDメニュー設定にアクセスまたは変更しないようにしてください。

デフォルトで、メニューおよび電源ボタンのロック設定は無効になっています。



ロックメニューにアクセスする場合は、終了ボタン(ボタン4)を4秒間長押ししてください。ロックメニューは、ディスプレイの右下隅に表示されます。

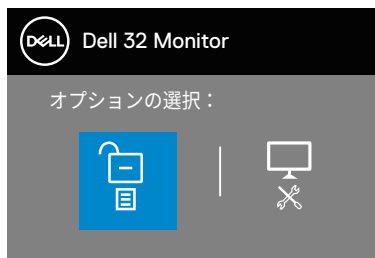
注意：メニューおよび電源ボタンがロック解除状態にあるとき、この方法を使用して、ロックメニューにアクセスできます。



ロック解除メニューにアクセスする場合は、終了ボタン(ボタン4)を4秒間長押ししてください。ロック解除メニューは、ディスプレイの右下隅に表示されます。

注意：メニューおよび電源ボタンがロック解除にあるとき、ロック解除メニューにアクセスできます。






3つのロックオプションがあります。

	メニュー	説明
1	メニューボタン 	メニューボタンが選択されているとき、OSDメニュー設定は変更できません。電源ボタン以外のすべてのボタンがロックされます。
2	電源ボタン 	電源ボタンが選択されているとき、電源ボタンを使用して、ディスプレイをオフにできません。
3	メニューおよび電源ボタン 	メニューおよび電源ボタンが選択されているとき、OSDメニュー設定は変更できず、電源ボタンはロックされます。
4	ビルトイン診断 	詳細については、 ビルトイン診断 を参照してください。

注意: ロックまたはロック解除メニューにアクセスする場合は、終了ボタン(ボタン4)を4秒間長押ししてください。


次のシナリオでは、 アイコンが、ディスプレイの中心に表示されます。

- 上ボタン(ボタン1)、下ボタン(ボタン2)、メニューボタン(ボタン3)、終了ボタン(ボタン4)が押されている場合。これは、OSDメニューボタンがロック状態にあることを示します。
- 電源ボタン(ボタン5)が押されている場合。これは、電源ボタンがロック状態にあることを示します。



- ・ 5つのボタンのいずれかが押されている場合。これは、OSDメニューボタンと電源ボタンがロック状態にあることを示します。

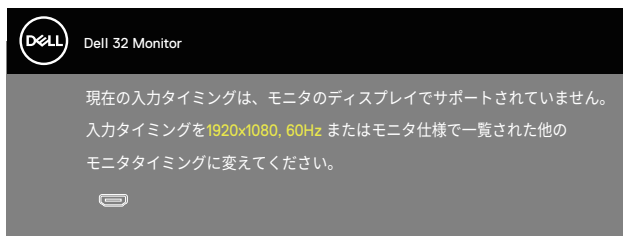
OSDメニューと電源ボタンをロック解除する

1. 終了ボタン(ボタン4)を4秒間長押ししてください。ロック解除メニューが表示されます。
2. ロック解除アイコン  を選択して、ディスプレイ上のボタンをロック解除してください。



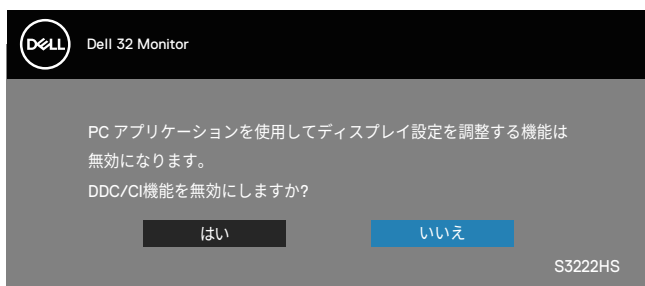
OSD警告メッセージ

モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。

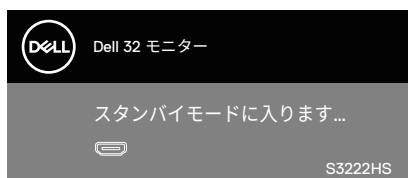


これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが対応している水平および垂直周波数幅については、[解像度の仕様](#)を参照してください。推奨モードは1920 x 1080です。

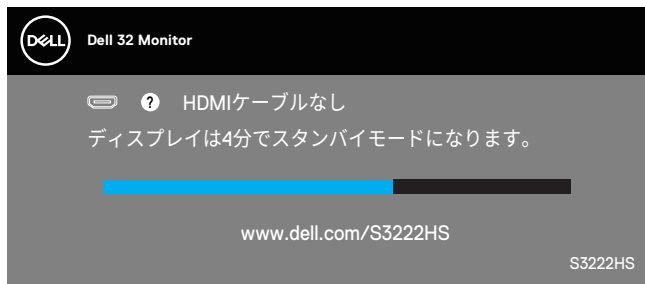
DDC/CI機能を無効になる前に、次のメッセージが表示されます。



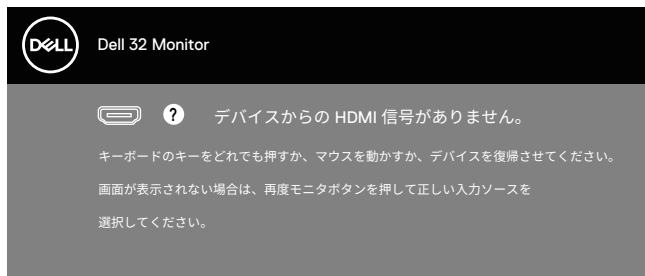
モニターが**Standby Mode (スタンバイモード)**に入る際には、次のメッセージが表示されます。



HDMIケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは4分後にスタンバイモードに入ります。



OSDは、通常動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードで任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



OSD にアクセスするには、コンピューターとモニターをアクティブにします。



最大解像度の設定

モニターを最大解像度に設定するには：

Windows® 8、Windows® 8.1の場合：

1. Windows 8とWindows 8.1の場合のみ、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、**Screen Resolution（画面解像度）**をクリックします。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、**1920 x 1080**を選択します。
4. **OK**をクリックします。

Windows® 10の場合：

1. デスクトップを右クリックし、**Display settings（ディスプレイ設定）**をクリックします。
2. **Advanced display settings（詳細ディスプレイ設定）**をクリックします。
3. **Choose display（ディスプレイの選択）**ドロップダウンリストをクリックして、正しいディスプレイモデル番号を選択します。
4. **Display adapter properties（ディスプレイアダプターのプロパティ）**をクリックします。
5. 新しいポップアップウィンドウで、**List All Modes（すべてモードの表示）**をクリックして、**1920 x 1080**を選択します。
6. **OK**をクリックします。

オプションとして**1920 x 1080**が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要があります。お使いのコンピューターによって、次の手順のいずれかを完了します。

Dellデスクトップまたはポータブルコンピューターをお使いの場合：

- www.dell.com/supportにアクセスし、コンピューターのサービスタグを入力して、グラフィックカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

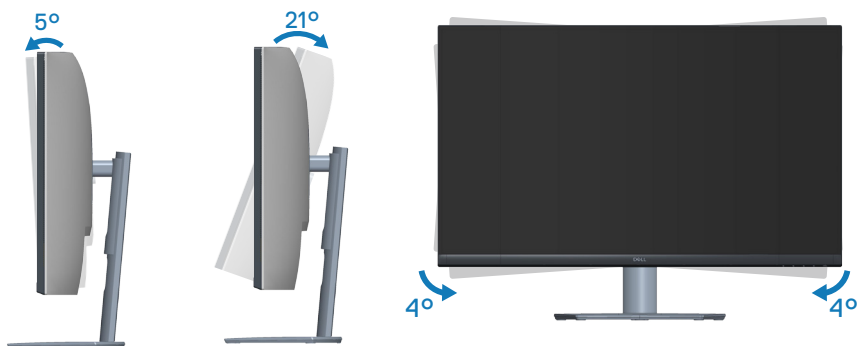
- お使いのコンピューターのサポートサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。
- お使いのグラフィックカードのWebサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。



傾きおよび垂直延長を使用する

- 注意：これらの値は、モニターに付属のスタンドに適用されます。他のスタンドをセットアップする場合は、そのスタンドに付属の説明書を参照してください。

傾き延長



- 注意：工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
- 注意：このモニターの傾斜角度は-4°から+4°の間で、ピボット動作はできません。

垂直延長

- 注意：スタンドは垂直に最大70 mm伸ばすことができます。



人間工学

△ **警告：キーボードを不適切に使用したり、長時間使用したりすると、怪我をする可能性があります。**

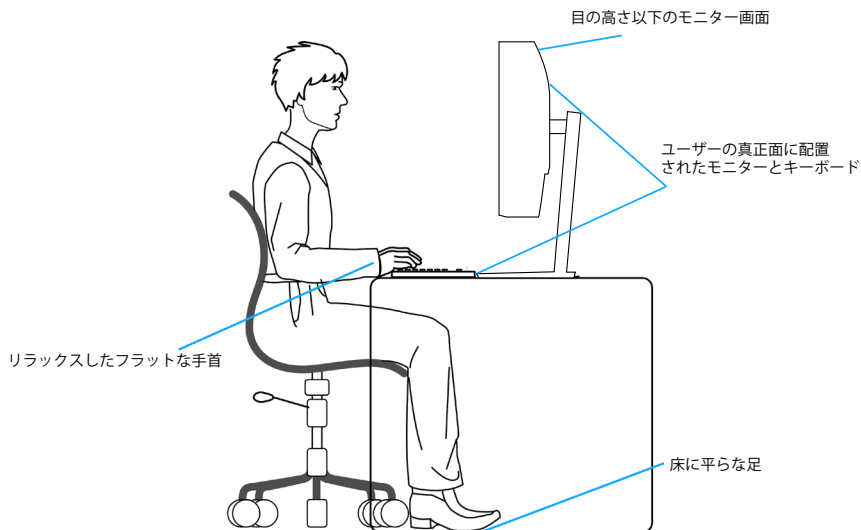
△ **警告：モニター画面を長時間見続けると、目の疲れが生じることがあります。**

快適さと効率のために、コンピューターワークステーションをセットアップして使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- ・作業中にモニターとキーボードが正面に来るようにコンピューターを置いてください。キーボードを正しく配置するための特別な棚が市販されています。
- ・モニターを長時間使用することにより発生する眼精疲労および首/腕/背中/肩の痛みのリスクを減らすため、当社は、以下を推奨します：
 1. 目から画面までの距離を20インチから28インチ（50 cm～70 cm）間に設定します。
 2. モニターを長時間使用するときは、頻繁に瞬きをして目を潤わす、または、水で目を濡らすようにしてください。
 3. 定期的かつ頻繁に、2時間当たり20分間休憩をとります。
 4. 休憩中は、モニターから目を離し、20フィートの距離にある物体を少なくとも20秒間凝視します。
 5. 休憩中は、ストレッチを行い、首、腕、背中および肩の緊張をほぐします。
- ・モニターの前に座っているときは、モニター画面が目の高さまたは少し下にあることを確認してください。
- ・モニターの傾き、コントラスト、明るさの設定を調整してください。
- ・周囲の環境照明（オーバーヘッドライト、電気スタンド、近くの窓のカーテンやブラインドなど）を調整して、モニター画面の反射とグレアを最小限に抑えてください。
- ・腰をしっかりサポートする椅子を使用してください。
- ・キーボードまたはマウスを使用するときは、前腕を水平に保ち、手首をニュートラルで快適な位置に維持してください。
- ・キーボードまたはマウスを使用しているときは、常に手を休めるスペースを空けてください。
- ・上腕を両側で自然に休ませてください。



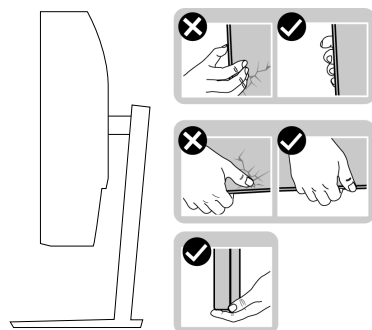
- ・ 足が床に平らに置かれていることを確認してください。
- ・ 座っているときは、脚の重量が座席の前部ではなく、足にかかっていることを確認してください。適切な姿勢を維持する必要がある場合は、椅子の高さを調整するか、フットレストを使用してください。
- ・ 作業活動を変化させてください。長時間座って作業する必要がないように、作業を整理してください。定期的に立ち上がって、歩き回ってください。
- ・ 快適な座席の邪魔になったり、つまずきの危険をもたらす可能性のある障害物やケーブル、電源コードを机の下に置かないでください。



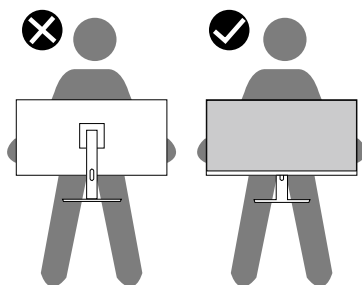
ディスプレイの取り扱いと移動

モニターを持ち上げたり移動したりするときにモニターを安全に取り扱うために、以下のガイドラインに従ってください。

- ・ モニターを移動または持ち上げる前に、コンピューターとモニターの電源を切ってください。
- ・ モニターからすべてのケーブルを取り外してください。
- ・ 元の梱包材を使って、モニターを元のボックスに入れてください。
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりするときは、モニターの下端と側面をしっかりと持ち、過度の圧力をかけないようにしてください。

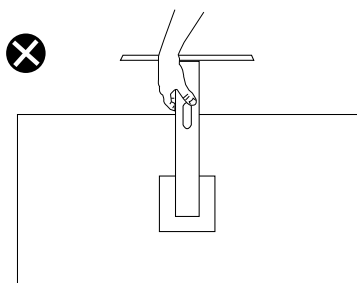


- ・ モニターを持ち上げたり移動したりするときは、画面が自分に向いていないことを確認し、傷や損傷を避けるために表示領域を触らないでください。



- ・ モニターを移動するときは、突然の衝撃や振動をモニターに加えないでください。
- ・ モニターを持ち上げたり移動したりするときは、スタンドベースまたはスタンドライザーを持ってモニターを裏返しにしないでください。これにより、モニターが偶発的に損傷したり、怪我をしたりすることがあります。





お手入れのガイドライン

モニターの清掃

- ⚠ **危険：モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。**
- ⚠ **警告：モニターを清掃する前に、安全上の注意を読んで、これに従ってください。**

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- ・ 画面を清掃するには、柔らかい清潔な布を水でわずかに湿らせます。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないでください。
- ・ モニターの清掃には、軽く湿らせた布を使用します。乳状のフィルムがモニターの表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- ・ モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いてください。
- ・ モニターは注意して取り扱ってください。黒色のモニターは引っ搔くと白い擦り傷が残ります。
- ・ モニターの画像品質を最高の状態に維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。



トラブルシューティング

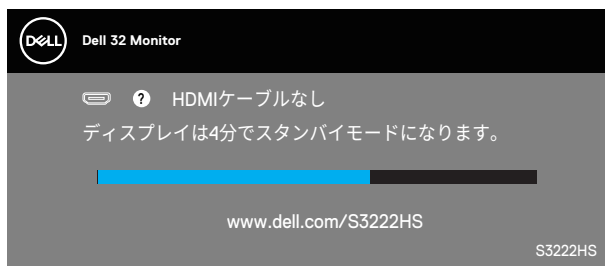
⚠ 危険：このセクションの手順を始める前に、安全上の注意に従ってください。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. モニターからすべてのビデオケーブルを取り外します。ケーブルを外すことで、コンピューターがこのセルフテストに関わらなくなります。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正しく機能している場合、信号がないことが検出され、次のいずれかのメッセージが表示されます。セルフテストモードの間、電源LEDは白のまま点灯します。



✎ 注意：このボックスは、通常のシステム操作時にも、ビデオケーブルが切断または破損した場合に表示されます。

4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの電源を入れます。

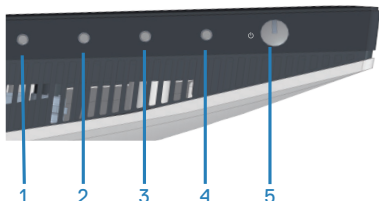
ケーブルを再接続してもモニターに何も映らなければ、ビデオコントローラーとコンピューターを確認してください。



ビルトイン診断

モニターにはビルトイン診断ツールがあり、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定するために役立ちます。

- 注意：ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。**




ビルトイン診断を実行するには：

1. 画面が汚れていないことを確認します（画面の表面に埃がないこと）。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. 終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し続けて、OSDロック/ロック解除メニューに入ります。





4.  アイコンを選択して、ビルトイン診断を有効にします。
5. 注意して画面の異常を調べます。
6. もう一度、背面カバーの上ボタン（ボタン1）を押します。画面の色が灰色に変わります。
7. ディスプレイに異常がないか調べます。
8. ステップ6と7を繰り返し、赤、緑、青、黒、白、テキストパターン画面で表示を調査します。

テキストパターン画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度上ボタン（ボタン1）を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べてください。



共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

一般的な症状	可能な解決策
ビデオなし/電源LEDがオフ	<p>モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">・他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。・電源ボタンが押されていることを確認します。・入力信号メニューを介して、正しい入力信号が選択されていることを確認します。
ビデオなし/電源LEDがオン	<ul style="list-style-type: none">・OSDを利用し、輝度とコントラストコントロールを上げます。・モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。・ビルトイン診断を実行します。・入力信号メニューを介して、正しい入力信号が選択されていることを確認します。
焦点がおかしい	<ul style="list-style-type: none">・ビデオ延長ケーブルを取り除きます。・モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。・ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
揺れ/不安定なビデオ	<ul style="list-style-type: none">・モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。・環境要因をチェックします。・モニターを移動させ、別の部屋でテストします。



ピクセル抜け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源を入れ直します。 ・ 常にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。 ・ Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト： www.dell.com/pixelguidelines.
常時点灯ピクセル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源を入れ直します。 ・ 常にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。 ・ Dellモニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dellサポートサイト： www.dell.com/pixelguidelines.
輝度の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 ・ OSDで輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何学的歪み	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 ・ OSDで水平方向と垂直方向のコントロールを調整します。
水平/垂直ライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 ・ モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの線がセルフテストモードでも存在するかどうか確かめます。 ・ ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ・ ビルトイン診断を実行します。



同期の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 ・ モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの乱れた画面がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 ・ ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ・ コンピューターをセーフモードで再起動します。
安全関連の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな問題解決手段も実行してはいけません。 ・ Dellにすぐにご連絡ください。
断続的な問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ・ モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。 ・ モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。
色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 ・ モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ・ ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。
色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色設定OSDで異なるプリセットモードを試します。色設定OSDで、ユーザーカラーの赤/緑/青値を調整します。 ・ 色設定OSDで、入力カラー形式をRGBまたはYCbCrに変更します。 ・ ビルトイン診断を実行します。
静止画像を長時間モニターに映していたことによる画像の残像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面のアイドル時間の数分後に画面がオフになるように設定します。これらは、Windowsの電源オプションまたはMacの省エネルギー設定で調整できます。 ・ または、動的に変化するスクリーンセーバーを使用してください。



ビデオのゴースト発生またはオーバーシュート

- ・ **ディスプレイOSDの応答時間**を利用目的に合わせて**通常、高速**または**最速**に変更します。

製品固有の問題

固有の症状	可能な解決策
画面の画像が小さすぎる	<ul style="list-style-type: none">・ ディスプレイ設定OSDで、アスペクト比設定を確認します。・ モニターを工場出荷時設定にリセットします（工場リセット）。
パネルの下部にあるボタンを使用してモニターを調整できない	<ul style="list-style-type: none">・ モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。・ OSDメニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合、終了ボタン（ボタン4）を4秒間押し、ロックを解除します。
ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし	<ul style="list-style-type: none">・ 信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのいずれかのキーを押して、コンピューターがスタンバイモードにないかを確認します。・ ビデオケーブルが正しく差し込まれているかどうかを確認してください。必要に応じて、ビデオケーブルを差し込み直してください。・ コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。
画像が全画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">・ DVDの異なるビデオ形式（アスペクト比）のため、モニターは全画面表示しません。・ ビルトイン診断を実行します。



付録

⚠ 危険：この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がることがあります。

安全上の注意については、**安全、環境、規制情報 (SERI)** を参照してください。

FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報

FCC通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンスWebサイト www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

Dellへのお問い合わせ

米国内のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。

✍ 注意：有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入送り状、荷造伝票、請求書、Dell製品カタログに掲載されています。

Dellでは複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

- ・ オンライン技術支援 — www.dell.com/support/monitors
- ・ Dellに連絡 — www.dell.com/contactdell



安定性に関する危険

1. アースリード線を挿入・接触しない。電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。
2. 電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。
3. アースリード線を接続する本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。
4. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む奥までしっかり差し込んでください。電源コードをディスプレイ本体付属のクランプとネジ (M4 × 10) で固定することで本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。
5. アースリード線を接地 (アース接続) する
6. 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する
7. 本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。
8. 電源プラグのアースリード線は必ず接地 (アース) してください。なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
9. 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

